



Press release

2015年8月4日
ハンファQセルズジャパン株式会社

ハンファ Q セルズジャパン 福島県相馬市のメガソーラープロジェクトにおける 太陽電池モジュールに採用

- 2015年7月着工開始、2017年6月運転開始予定の福島県相馬市磯部地区における最大出力52.5MWのメガソーラープロジェクト
- ハンファQセルズ製多結晶太陽電池モジュール最大約198,000枚を供給

ハンファ Q セルズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 キム・ジョンソ 以下「Q セルズ」）は、株式会社九電工などが設立する「合同会社レナトス相馬ソーラーパーク」より、福島県相馬市磯部地区における最大出力52.5MWのメガソーラープロジェクト向け太陽電池モジュールを、丸紅株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長・國分文也 以下、「丸紅」）を通じ、受注いたしましたことをお知らせいたします。7月に着工開始となった本プロジェクトは、2017年6月に運転開始を予定しており、今後完成に向けてハンファQセルズ製太陽電池モジュールを供給してまいります。

福島県相馬市磯部地区は、東日本大震災の津波で被災し、塩害による農作が困難になったことから、2015年3月に農地転用が認められ、メガソーラープロジェクトを進めることが可能となりました。本プロジェクトでは、事業主である合同会社レナトス相馬ソーラーパークの発電事業における収益の一部を、地域の農業振興のために寄付するなどの、地域貢献策も検討されています。Qセルズは、多数のメガソーラー取引実績を有する丸紅を通じ、当社太陽電池モジュールを供給し、被災した土地の再活用及び復興に貢献してまいります。

Qセルズは、環境先進国ドイツで培った経験及び実績をもとに、住宅用から産業用まで、持続的にクリーンな電力を提供できる太陽光発電システム販売・発電事業を日本で展開しています。今後も日本における再生可能エネルギーの柱である太陽光発電事業の発展に尽力してまいります。



完成イメージと概要



所在地	福島県相馬市磯部字芹谷地 他
設置面積	約 700,000 m ²
出力規模	52,452kW (モジュール容量ベースの最大出力値)
モジュール枚数	ハンファQセルズ製 多結晶 最大約 198,000 枚
年間予想発電量	約 60,000,000kWh ※一般家庭約 16,660 世帯分の年間消費電力相当
工事着工日	2015 年 7 月
運転開始予定時期	2017 年 6 月

※ 1 世帯当たり 3,600kWh/年で算出。出展：電気事業連合会「電力事情について」

【ハンファQセルズジャパン株式会社について】

1984 年に韓国最大手企業であるハンファグループの日本法人として設立。2014 年 3 月に設立 30 周年を迎えた。太陽光発電関連事業（太陽光モジュール輸入販売、IPP 事業）をはじめ化学品、鉄工、機械・設備、自動車部品、IT 関連機器等、多分野にわたる基幹産業のアジア諸国間での輸出入業務と日本市場での販売事業を展開している。2011 年より日本の太陽光事業に参入し、ドイツ生まれのQセルズブランドの技術力を活かした太陽光モジュール、システム開発・生産・販売、発電所事業など太陽光事業において幅広くビジネスを展開している。日本向け出荷量の累計は 1.7GW に達し（2015 年 7 月現在）、2013 年には外資系太陽光モジュールメーカーとして国内出荷量で 1 位となる。

URL: <http://www.q-cells.jp/>